

平成27年度教育委員会事務事業点検評価(平成26年度実施事務事業)評価表

		整理番号	1	担当部課	生涯学習部	社会教育課	
事務事業	514221 生涯学習推進事業						
事業区分	実施計画事業	施策体系	514220 生涯学習の環境の充実				
区分	必要性	高い	有効性	非常に高い	効率性	普通	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	市民						
事務事業目的	誰もが、生涯をとおして豊かに学び、学びを通して自分を磨き高め、学びの成果を社会の中で活かすことができるよう、生涯学習に取り組む機会や場の充実を図ります。						
事務事業内容	生涯学習に関する情報の提供や相談に総合的に応じる窓口を設置するとともに、ボランティア制度や生涯学習まちづくり出前講座の利用の促進を図り、併せて子ども大学を開校します。また、生涯学習の場として、人間川小学校の施設の一部を開放します。						
実施形態	一部委託						
成果指標	生涯学習に参加した人数(公民館利用者数)						
活動指標	(活動指標1) 生涯学習まちづくり出前講座利用件数 (活動指標2) さやマルシェ内の生涯学習情報へのアクセス件数 (活動指標3) 生涯学習情報コーナーにおける相談件数						
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定	550,000	550,000	600,000	740,000	
	単位:人	実績	551,223	773,472	739,319	773,472	
	活動指標1	予定	480	490	500	500	
	単位:件	実績	474	496	468	489	
	活動指標2	予定	3,000	5,000	6,500	8,000	
	単位:件	実績	3,586	8,335	12,225	15,424	
	活動指標3	予定	0	2,400	1,300	2,000	
	単位:件	実績	0	961	1,868	2,323	
	トータルコスト	予定	0	7,774	13,624	23,942	
	(千円)	実績	0	7,252	13,143	23,535	
見直し実績							
事務事業評価	必要性	学びを通して自分を磨き高め、学びの成果を社会に活かすうえで、生涯学習の機会や場の充実を図ることは重要であり、本事業の必要性は高い。					
	有効性	延べ75万人を超える人が生涯学習に参加し、市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」内の生涯学習情報検索システムにも15,000件を超えるアクセスがあり、こうした点では、本事業は、市民の生涯学習への参加促進を図るうえでの有効性は高い。					
	効率性	生涯学習情報コーナーの管理運営や人間川小学校開放教室の施設管理を業務委託することで、生涯学習の推進に係る業務の効率化が図られた。					
	方向性	生涯学習の推進については、今後も市民と協働して事業を進めていく。					

平成27年度教育委員会事務事業点検評価(平成26年度実施事務事業)評価表

		整理番号	2	担当部課	生涯学習部	中央公民館	
事務事業	025034 公民館管理事業						
区分	事業区分	その他の事業	施策体系	025010 教育文化事業			
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	各公民館						
事務事業目的		生涯学習の拠点として、市民に生涯学習に取り組む場を提供し、市民の生涯学習活動の促進を図ります。					
事務事業内容		公民館11館の施設を適正に管理し、公民館登録団体等に生涯学習活動の場として貸し出します。					
実施形態		直営(一部指定管理)					
成果指標		施設の利用率					
活動指標		(活動指標1) 施設の利用件数 (活動指標2) 施設の利用人数 (活動指標3)					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定	58.80	58.20	38.35	40.18	
	単位: %	実績	44.15	38.35	40.18	40.01	
	活動指標1	予定	29,000	29,000	50,550	50,814	
	単位: 件	実績	29,592	50,550	50,814	52,574	
	活動指標2	予定	415,000	415,000	655,157	645,970	
	単位: 人	実績	415,697	655,157	645,970	660,981	
	活動指標3	予定					
	単位:	実績					
	トータルコスト	予定		211,672	225,376	226,659	
	(千円)	実績		208,165	224,642	226,105	
見直し実績							
事務事業評価	必要性	市民の学習活動の場としての利用を通して、市民の生涯学習活動の促進を図るうえで、必要性は高い。					
	有効性	施設の利用件数が52,600件余り、利用者も延べ661,000人余りであり、市民の生涯学習活動の促進を図るうえで、本事業は有効に機能している。					
	効率性	指定管理者制度の導入、委託契約内容の見直し等により、事業の効率化が図られた。					
	方向性	地域の生涯学習の拠点として、生涯学習に取り組む場や成果発表する場とし、利用を促進していく。					

平成27年度教育委員会事務事業点検評価(平成26年度実施事務事業)評価表

		整理番号	3	担当部課	生涯学習部 中央公民館		
事務事業	025037 公民館講座等運営事業						
	事業区分	その他の事業	施策体系	025010 教育文化事業			
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	各公民館						
事務事業目的		生涯学習の拠点として、市民に生涯学習に関する機会を提供し、市民の生涯学習活動の促進を図るとともに、社会教育の振興を図ります。					
事務事業内容		生涯学習に関する講座等を開催するとともに、社会教育事業として、現代的課題や地域の課題に関する講座等を開催します。					
実施形態		直営(一部指定管理)					
成果指標		講座等の延べ参加者数					
活動指標		(活動指標1) 講座等の件数 (活動指標2) 講座等の延べ開催回数 (活動指標3)					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定	135,000	135,000	118,315	102,684	
		実績	135,526	118,315	93,349	112,491	
	活動指標1	予定	340	350	369	356	
		実績	349	369	324	388	
	活動指標2	予定	1,400	1,450	1,538	1,329	
		実績	1,450	1,538	1,208	1,414	
	活動指標3	予定					
		実績					
トータルコスト		予定	85,808	84,218	92,843		
(千円)		実績	84,657	83,178	92,658		
見直し実績							
事務事業評価	必要性	市民の地域学習の促進を図るうえで、必要性は高い。					
	有効性	講座等に延べ112,500人余りの参加者があり、現代的課題や地域課題などをテーマとした講座の開催を通じて、市民の地域学習の促進に有効に機能している。					
	効率性	実費相当分の参加費を徴収し、受益者負担の適正化を図ることにより、事業の効率化が図られた。					
	方向性	今後も現代的課題や地域課題の取り組みを強化し、市民の地域学習の促進を図っていく。					

平成27年度教育委員会事務事業点検評価(平成26年度実施事務事業)評価表

整理番号 4

担当部課 生涯学習部 中央図書館

事務事業	025044 図書館管理事業						
事業区分	その他の事業	施策体系	025010 教育文化事業				
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	図書館利用者						
事務事業目的	図書館施設を適切に維持管理し、利用者に学習の場を提供します。						
事務事業内容	開館業務に必要な建物・施設・設備の管理、事務用品・備品等の管理、その他図書館運営に必要な業務を総括的に管理します。						
実施形態	一部委託						
成果指標	図書館来館者数						
活動指標	(活動指標1) 図書館の開館日数 (活動指標2) 図書館の夜間開館日数 (活動指標3)						
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定	590,000	590,000	550,000	408,291	
	単位：人	実績	599,953	564,063	551,694	412,703	
	活動指標1	予定	290	291	284	295	
	単位：日	実績	291	284	289	296	
	活動指標2	予定	137	146	136	123	
	単位：日	実績	139	136	140	123	
	活動指標3	予定					
	単位：	実績					
	トータルコスト	予定		78,963	78,645	99,572	
	(千円)	実績		77,919	80,618	102,142	
見直し実績							
事務事業評価	必要性	市民の学習ニーズは多様化、高度化しており、社会教育、生涯学習の場として図書館の果たす役割は大きいことから、本事業の必要性は高い。					
	有効性	中央図書館が耐震改修工事により6ヶ月間休館したが、全館で年間40万人を超える来館者があり、社会教育施設、生涯学習施設として有効に機能している。					
	効率性	適切に施設の管理を行うため、専門の業者に設備の管理や警備等の業務を委託している。					
	方向性	図書館施設を適切に維持管理し利用者に提供するため、事業を継続して実施していく。					

平成27年度教育委員会事務事業点検評価(平成26年度実施事務事業)評価表

		整理番号	5	担当部課	生涯学習部 中央図書館		
事務事業	514211 レファレンスサービス(資料相談業務) 事業						
事業区分	実施計画事業	施策体系	514210 生涯学習の機会の拡充				
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	中央図書館						
事務事業目的	様々なニーズに対してきめ細かな図書館サービスの提供を行い、利用者の学習や調査活動を支援します。						
事務事業内容	レファレンスツール(参考図書、新聞、データベース検索サービス等)の充実に努めるとともに、研修会等を通じて職員の資質・能力の向上を図ります。						
実施形態	直営						
成果指標	図書館のレファレンス件数						
活動指標	(活動指標1)レファレンス図書受入冊数 (活動指標2)レファレンス研修への参加人数 (活動指標3)						
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定		13,000	13,000	9,000	
	単位: 件	実績		13,314	14,508	11,121	
	活動指標1	予定		20	25	23	
	単位: 冊	実績		22	23	33	
	活動指標2	予定		15	14	15	
	単位: 人	実績		14	23	11	
	活動指標3	予定					
	単位:	実績					
トータルコスト	予定		13,828	14,691	14,241		
(千円)	実績		13,551	14,536	14,258		
見直し実績							
事務事業評価	必要性	利用者のニーズは多様化、高度化しており、課題解決を図るうえで、図書館の果たす役割は大きい。					
	有効性	資料性が高い参考図書を選定し購入するとともに、県が主催する図書館研修に職員を派遣することでレファレンスサービスの充実に努めている。					
	効率性	インターネットによる法情報等のデータベースを活用して、経費と省スペース化を図っている。					
	方向性	利用者のニーズを的確に把握し、求める資料をすばやく提供するために今後も資料の収集と職員の研鑽に努める。					

平成27年度教育委員会事務事業点検評価(平成26年度実施事務事業)評価表

整理番号	6	担当部課	生涯学習部 博物館
------	---	------	-----------

事務事業	025074 博物館管理事業						
事業区分	その他の事業	施策体系	025010 教育文化事業				
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	普通	
	方向性(第一次)	改善、効率化	改善、効率化の内容	目的、手段の変更	方向性(第二次)		
対象	一般						
事務事業目的	生涯学習の拠点として、当市の歴史・文化・自然などの資料を展示し、郷土に対する理解の醸成を図るとともに、講座や体験学習を通して市民の学習活動を支援します。						
事務事業内容	常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民族などを通史的に展示するほか、博物館をより身近なものとするため、講座や体験学習を開催します。						
実施形態	一部委託						
成果指標	全入館者数に対する常設展示入館者数の割合						
活動指標	(活動指標1) 全入館者数 (活動指標2) 常設展示入館者数 (活動指標3)						
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定	54.48	48.59	49.36	41.12	
	単位：%	実績	48.73	44.87	29.76	37.96	
	活動指標1	予定	39,443	35,692	27,593	35,551	
	単位：人	実績	28,066	28,730	43,857	31,969	
	活動指標2	予定	21,491	17,345	14,058	13,206	
	単位：人	実績	13,677	12,892	13,050	12,136	
	活動指標3	予定					
	単位：	実績					
	トータルコスト	予定		82,453	85,448	87,360	
	(千円)	実績		82,421	85,640	87,171	
見直し実績							
事務事業評価	必要性	当市の歴史・自然などの資料展示や講座の開催等を通して、郷土に対する理解の醸成を図るうえで、必要性は高い。					
	有効性	全入館者数に対する常設展示入館者数の割合は減少しているものの、入館者数が前年度と同様に例年より増加となり、事業を通して、市民の郷土に対する理解の醸成が図られている等、博物館の設置目的に沿って、有効に機能している。					
	効率性	現在の状況では、職員数の見直しなどこれ以上のコスト削減は厳しい状況であることから、指定管理者制度を導入し、更なるコスト削減を図ることも考えられる。					
	方向性	民間事業者ならではの経営ノウハウを積極的に活用した、市民サービスの向上と効率的な施設の維持管理による経費の節減に期待し、指定管理者制度の導入を進めていく。					

平成27年度教育委員会事務事業点検評価(平成26年度実施事務事業)評価表

整理番号	7	担当部課	生涯学習部 博物館
------	---	------	-----------

事務事業	025077 博物館企画展事業						
事業区分	その他の事業	施策体系	025010 教育文化事業				
区分	必要性	高い	有効性	高い	効率性	普通	
	方向性(第一次)	改善、効率化	改善、効率化の内容	目的、手段の変更	方向性(第二次)		
対象	一般						
事務事業目的	常設展示では得られない知識や情報などの資料展示を行い、市民の学習機会の充実を図るとともに、博物館への興味や関心を高めていきます。						
事務事業内容	企画展は、「狭山らしさ」を踏まえ、当市の歴史の一端に触れるもの、子供たちの博物館への興味や関心を高めるもの及び独自性に富んだものを基軸として、年3回開催します。						
実施形態	一部委託						
成果指標	全入館者数に対する企画展入館者数の割合						
活動指標	(活動指標1) 企画展入館者数 (活動指標2) (活動指標3)						
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定	75.52	76.38	89.20	93.43	
	単位：%	実績	79.24	81.09	88.99	80.00	
	活動指標1	予定	29,789	27,263	21,247	28,188	
	単位：人	実績	22,240	23,298	39,027	25,594	
	活動指標2	予定					
	単位：	実績					
	活動指標3	予定					
	単位：	実績					
	トータルコスト	予定		28,300	18,310	18,583	
	(千円)	実績		28,230	18,293	18,682	
見直し実績							
事務事業評価	必要性	常設展示だけでは得られない知識や情報などを内容として、多様な企画展を実施し、市民の学習機会の充実を図るうえで、必要性は高い。					
	有効性	企画展入館者数が前年度より増加しており、企画展を通して、市民の学習機会の充実や子どもたちの博物館への興味や関心を高めるうえで、有効性は高い。					
	効率性	現在の学芸員の配置状況では、今以上体験型などの多様な企画展を実施していくことは厳しい状況であることから、指定管理者制度を導入し、企画展の更なる充実を図ることも考えられる。					
	方向性	民間事業者ならではの新たな視点による多様で魅力のある企画展の開催に期待し、指定管理者制度の導入を進めていく。					

平成27年度教育委員会事務事業点検評価(平成26年度実施事務事業)評価表

整理番号	8	担当部課	生涯学習部 中央公民館
------	---	------	-------------

事務事業	514223 公民館改修事業						
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514220 生涯学習の環境の充実			
区分	必要性	非常に高い	有効性	非常に高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	各公民館						
事務事業目的	老朽化した公民館の施設・設備を改修し、快適な学習環境を確保します。						
事務事業内容	公民館の施設・設備の老朽化に伴い、狭山市公共建築物改修計画に基づき、施設・設備の改修を計画的に行います。						
実施形態	直営						
成果指標	施設・設備の改修が必要な公民館(2館)に対する改修が完了した公民館の割合						
活動指標	(活動指標1) 施設・設備改修工事の件数 (活動指標2) (活動指標3)						
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定				50	
	単位：%	実績				50	
	活動指標1	予定				1	
	単位：件	実績				1	
	活動指標2	予定					
	単位：	実績					
	活動指標3	予定					
	単位：	実績					
	トータルコスト	予定				5,959	
	(千円)	実績				4,797	
見直し実績							
事務事業評価	必要性	快適な学習環境の確保や施設の機能を維持するために、老朽化した公民館の施設・設備を計画的に改修することの必要性は高い。					
	有効性	快適な学習環境の確保を図るうえで、本事業の有効性は高い。					
	効率性	奥富公民館の工事を計画的に進めることにより、事業の効率化が図られた。					
	方向性	今後も狭山市公共建築物改修計画に基づき計画的に改修工事を進めることにより、快適な学習環境の確保を図る。					

平成27年度教育委員会事務事業点検評価(平成26年度実施事務事業)評価表

		整理番号	9	担当部課	生涯学習部 中央公民館		
事務事業	514224 公民館空調改修事業						
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514220 生涯学習の環境の充実			
区分	必要性	非常に高い	有効性	非常に高い	効率性 高い		
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	各公民館						
事務事業目的		老朽化した公民館の空調設備を改修し、快適な学習環境を確保します。					
事務事業内容		公民館の空調設備の老朽化に伴い、狭山市公共建築物改修計画に基づき、空調設備の改修を計画的に行います。					
実施形態		直営					
成果指標		空調設備の改修が必要な公民館(6館)に対する改修が完了した公民館の割合					
活動指標		(活動指標1) 空調改修工事の件数 (活動指標2) (活動指標3)					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定		33.33	50.00	66.67	
		実績		33.33	50.00	66.67	
	活動指標1	予定		2	1	1	
		実績		2	1	1	
	活動指標2	予定					
		実績					
	活動指標3	予定					
		実績					
トータルコスト		予定	120,170	52,294	54,683		
(千円)		実績	92,668	50,776	54,522		
見直し実績							
事務事業評価	必要性	快適な学習環境の確保や施設の機能を維持するために、老朽化した公民館の空調設備を計画的に改修することの必要性は高い。					
	有効性	快適な学習環境の確保を図るうえで、本事業の有効性は高い。					
	効率性	奥富公民館の工事を計画的に進めることにより、事業の効率化が図られた。					
	方向性	今後も狭山市公共建築物改修計画に基づき計画的に改修工事を進めることにより、快適な学習環境の確保を図る。					

平成27年度教育委員会事務事業点検評価(平成26年度実施事務事業)評価表

		整理番号	10	担当部課	生涯学習部 社会教育課		
事務事業	514226 富士見集会所改修整備事業						
	事業区分	実施計画事業	施策体系	514220 生涯学習の環境の充実			
区分	必要性	非常に高い	有効性	非常に高い	効率性	高い	
	方向性(第一次)	現行どおり	改善、効率化の内容		方向性(第二次)		
対象	富士見集会所						
事務事業目的		老朽化の進んだ富士見集会所空調設備の改修設計を実施し、快適な学習環境の整備を図ります。					
事務事業内容		富士見集会所の老朽化に伴い、狭山市公共建築物改修計画に基づき、改修を行います。					
実施形態		直営					
成果指標		空調設備改修工事設計の進捗率					
活動指標		(活動指標1) 空調設備改修設計業務の進捗率 (活動指標2) (活動指標3)					
目標達成状況			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	成果指標	予定				100	
		実績				100	
	活動指標1	予定				100	
		実績				100	
	活動指標2	予定				-	
		実績				-	
	活動指標3	予定					
		実績					
トータルコスト		予定			940		
(千円)		実績			886		
見直し実績							
事務事業評価	必要性	施設の老朽化が進み、地域の学習活動及び地域活動を推進するには、空調設備の改修を行う必要がある。					
	有効性	学習環境の充実が図られる。					
	効率性	市民の利便性の向上を図るとともに、施設の運営経費の節減と効率化が図られる。					
	方向性	施設の老朽化に対応して、施設の改修を計画的に行う。					